

温泉の利用状況について

泉 質： ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩温泉
(低張性 弱アルカリ性 高温泉)

温泉成分の特徴： 弱アルカリ性で、肌はなめらかに、湯冷めしにくい温泉です。
(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量： 49.6℃ 127ℓ/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり(直近成分分析年月日：R1.9.14)

浴槽の種類とその状況： 大浴場、露天風呂、家族風呂(全て温泉水を使用)

循環、かけ流しの状況： 循環・かけ流し併用式
(温泉資源の保護及び浴槽内の汚れを除去するため、浴槽に温泉水を注入しながら浴槽水を回収し、ろ過して再利用しています。)

加水の状況： 泉温が高いため、冬場5～10%、夏場15～20%程度井戸水を加えています。

加温の状況： なし

新湯との入れ替わり状況： 約4時間で入れ替わります。

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 毎日、完全にお湯を抜いて清掃しています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、次亜塩素酸ナトリウムを投入し、浴槽内の塩素濃度を2時間ごとに確認することにより、細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、6ヶ月に1回実施しています。
※水質検査証は別に表示

令和元年 9月14日

施設名 ホテル華の荘

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会